

ホンホン通信 22

釜石市立図書館の本や、楽しいイベントを紹介します!



釜石市立図書館

2025年8月 発行

\\暑い時期におすすめ!!\\

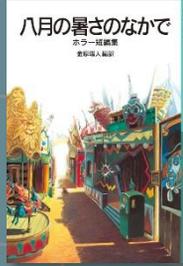
こわい本



「ヨシモトオノ」

吉本 ばなな / 著
文藝春秋刊 (913.6/3)

ヨシモトオノとは、吉本ばなな×『遠野物語』! 怖く、美しく、心の中に小さな不思議と希望の光を灯す怪談を集めた、吉本ばなな版遠野物語。



「八月の暑さのなかで」 (ホラー短編集)

金原 瑞人 / 編訳
岩波書店刊 (933.78/※)

英米のホラー小説に詳しい訳者が選んだアンソロジー。エドガー・アラン・ポー、サキ、フレドリック・ブラウン、ロアルド・ダールなど、短編の名手たちによる怖くてクールな13編。



「悪の教典 (上)」

貴志 祐介 / 著
文藝春秋刊 (913.6/※/1)

学校という閉鎖空間に放たれた殺人鬼は、高いIQと好青年の貌を持っていた…。ピカレスクロマンの輝きを秘めた戦慄のサイコホラー。



「長距離電話」

赤川 次郎 / 著
汐文社刊 (J913.6/7)

夜の山道で見つけた古い電話ボックス。もしも昔に戻って、もう一度人生をやり直すことができたなら。そんな不可能な願いが、一本の電話から現実になっていく…。



「小さな手」(ホラー短編集4)

瑞人 / 編訳 佐竹 美保 / 絵
岩波書店刊 (933.78/※)

たわいない願いが引き起こす悲劇。手をめぐる怪異、美しい館の秘密…。カポテーティ、ステューザンソン、キプリングなどによる英米ホラー傑作選。



「漫画家たちが描いた怪談(ただよ妖狐)」

中野 晴行 / 監修
金の星社刊 (726.1/7)

身近にあるのに、人間が暮らすことのできない水の中には、きっと私たちとは全く別の世界がある。手塚治虫、模図かすお、つげ忠男など、7人の漫画家たちが描いた水辺の怪談を収録。



「シンデレラのねずみ」

斎藤 洋 / 作 森泉 岳土 / 絵
偕成社刊 (J913/※)

おかしなことに、わたしの顔を見るとみな、奇妙な話をしたくなるらしい。図書館でアルバイトをするわたしのもとに集まる、不思議な話とは? 図書館を舞台にした奇譚集



「お前の死因にとびきりの恐怖を」

梨 / 著
イースト・プレス刊 (913.6/※)

文芸部の片隅で見つかったUSBメモリ。それは、ある男子学生の「死」に関する情報を集めた不気味なものだった…。ホラーモキュメンタリー。



「ばけもの」

柳田 国男 / 原作
京極 夏彦 / 文 飯野 和好 / 絵
汐文社刊 (913.6/※)

ノリコシ、抜け首、謎のウサギ…。遠野のおばけ、夜に行く。京極夏彦による新たな語りと飯野和好の絵による「遠野物語」の絵本。見返りに「遠野物語マップ」あり。“怪談の原点”をえがくシリーズ最終巻。

おすすめ作家

しおみ なつえ
汐見 夏衛

【ジャンル】中高生を主人公とした恋愛小説、青春小説など

鹿児島県生まれ。愛知県在住。高校の国語教師として働きながら、2013年に携帯小説サイト「野いちご」に出会い趣味として小説の執筆をスタート。2016年に書籍デビュー。『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』で「野いちご大賞」の大賞を受賞。現役高校教員の描く青春ストーリーとして話題を呼んだ。2023年に2作品が映画化され、2026年には新たな映画も公開予定。

夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く



汐見 夏衛 / 著
スターズ出版刊 (YA 913.6/3)

ある事情から優等生を演じている茜は、自由奔放な青磁(せいじ)を嫌っていた。でも、孤独と窮屈さでどうしようもなかった茜を救ってくれたのは、青磁だった。青磁の隣で過ごす時間は、茜の気持ちをやっつきと溶かしていく…。

2023年映画化作品

あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。



汐見 夏衛 / 著
スターズ出版刊 (YA 913.6/3)

家を飛び出した中2の百合。目をさますと、そこは戦時中の日本だった。偶然通りかかった影に助けられた百合は、彼に惹かれていくが、彼は特攻隊員で…。

2023年映画化作品

明日の世界が君に優しくありますように



汐見 夏衛 / 著
スターズ出版刊 (YA 913.6/3)

家族も友達も信じられなくなった真波(まなみ)は、高校進学を機にひとり、祖父母の家へ引っ越した。優しすぎる祖母と、正義感に強く説教ばかりの同級生・達(れん)に感傷さを感じる真波。ある日、夜の海岸で不思議な青年・ユウと出会い…。

ごあんない

図書展 秋色の本

10/3(金) ▶ 11/2(日)

1階 展示ホール

本の表紙が
秋を思わせる色の本を集めた
見て楽しい読んで楽しい展示です。
貸出もします。

POP展

11/6(木) ▶ 11/23(日)

1階 点字室前

釜石市立図書館の本の中から
描いていただいたPOPを
本とともに展示します。

まめちしき

あおぞらぶんこ

青空文庫

青空文庫
トップページ



◦ 青空文庫ってなに？

「青空文庫」とは、インターネット上にある「無料の電子図書館」です。
有名な作家の本をスマホやパソコンで読むことができます。

◦ どんな本が読めるの？

明治・大正・昭和の時代に書かれた日本の名作を中心に、小説だけではなく、詩、童話、エッセイ、歴史、哲学など、いろいろなジャンルを読むことができます。

◦ どうして無料なの？

本には「著作権（ちょさくけん）」というルールがあり、勝手にコピーしたり、ネットにのせたりすることはできません。しかし、日本では作者が亡くなってから70年がたつと、著作権がなくなります。青空文庫では、そうした著作権の切れた作品を、ボランティアの方々が入力して、公開してくれています。

開館時間

8~10月 平日 ▶ 9:00~18:00 土日 ▶ 9:00~17:00	11月 平日 ▶ 9:00~17:00 土日 ▶ 9:00~17:00
---	---

図書館休館日

■ 色がついている日は休館日

釜石市立図書館 ▶
ホームページ
イベント情報、
蔵書検索、予約など



8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						